

東京都建築物環境計画書制度における複数用途建築物の 3段階評価基準判定ツール

使用方法

※ 本ツールの出力結果は、取組評価書と合わせて提出が必要です。

はじめに

非住宅用途BEIの基準値が用途により異なるため、複数用途建築物については、用途のエネルギー消費量により基準値が決まるため、用途構成によって基準値も異なります。

		省エネ性能基準	評価基準		
			段階 1	段階 2	段階 3
省エネ性能 BEI	工場等	0.75以下	0.75以下	0.65以下	0.6以下
	事務所等・学校等	0.8以下	0.8以下	0.7以下	
	ホテル等・百貨店等			0.75以下	0.7以下
	病院等・飲食店等・集会所等	0.85以下	0.85以下		

WEBプログラムの出力結果のみでは、この基準値への適合判定は困難となります。

※ **基準値 = Σ (各用途ごとの基準一次エネルギー消費量 × 当該用途の各段階応じたBEI基準値)**

複数用途建物 1 棟ごとに段階 1、段階 2、段階 3 のそれぞれの評価基準を算定する必要があり、この算定及び判定を容易にできる本ツールを整備しました。

1. 動作環境

段階評価基準判定ツールを使用するには以下の環境が必要です。

● OS

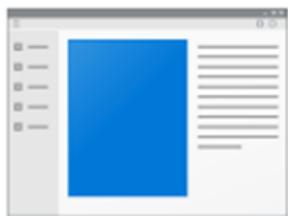
Windows 10 Version 1607以降 / x86 64ビット

Windows 11 Version 22000以降 / x86 64ビット

● Memory

4GB 以上

2. 段階評価基準判定ツールの起動



段階評価判定ツール.
exe

- ・ダウンロードしたZIPファイルを解凍し、「段階評価判定ツール.exe」をPCの任意の場所(デスクトップ等)へ配置します。
- ・「段階評価判定ツール.exe」をダブルクリックすることでツールが起動します。

※ウイルス駆除ソフト等で検知される場合は、本プログラムを除外指定してください

3. 段階評価基準判定ツールの使用方法

東京都建築物環境計画書制度における複数用途建築物の3段階評価基準判定ツール

① 入力形式指定：「標準入力法」または「モデル建物法」を選択してください。
 標準入力法 モデル建物法

② ファイル指定：「参照」をクリックしファイルを選択してください。または、この画面内にファイルをドロップしてください。
[参照]

③ 「判定実行」をクリックし、段階基準を出力してください。
[判定実行]

④ 下記にエラーメッセージが表示された場合は、ファイルを確認してください。

※標準入力法：建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（平成28年経済産業省・国土交通省例第1号）第1条第1項第1号イに規定する方法
モデル建物法：建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（平成28年経済産業省・国土交通省例第1号）第1条第1項第1号ロに規定する方法
※WEBプログラム（国立研究開発法人建築研究所がホームページで公表する建築物省エネ法に基づく一次エネルギー消費量算定プログラム）から出力されるファイルを用いてください。

ファイルを選択すると、ファイルのパスが表示

- ① 「標準入力法」または「モデル建物法」を選択してください。
- ② WEBプログラムから出力されたファイルを、「参照」をクリックして選択、または、画面内にファイルをドロップしてください。
- ③ ファイルを選択後、「判定実行」をクリックすると、段階判定を実行します。
- ④ エラーメッセージが表示された場合は、再度、入力形式及びファイルを指定してください。
※エラーメッセージ一覧は9ページを参照ください。

3. 段階評価基準判定ツールの使用方法

東京都建築物環境計画書制度における複数用途建築物の3段階評価基準判定ツール

判定日： 2024/03/14

入力形式： 標準入力法

⑤ 基準BEI： 段階1 段階2 段階3

設計BEI：

段階判定結果：

出力方法選択：
 ファイル出力 印刷

- ⑤ 正常に判定されると、当該建物の各段階の基準BEIが表示されます。
「クリップボードへコピー」をクリックすると、この判定結果がコピーされます。

3. 段階評価基準判定ツールの使用方法

(3)省エネルギーシステム								
ア 設備システムの効率化							適用する	段階1
(ア)ERRの計算方法								
(イ) a ERR		%	BEI (BEIm)					
b 設計一次エネルギー消費量		GJ/年						
c 基準一次エネルギー消費量		GJ/年						
(ウ)ZEBに係る事項								
(エ)省エネルギー性能目標値 (ERR)		%	入力不可					
	空調	換気	照明	給湯	昇降機	その他	単位	
(オ) a 設備別の一次エネルギー消費量の状況								
b 設備別設計一次エネルギー消費量							GJ/年	
c 設備別基準一次エネルギー消費量							GJ/年	
(カ)熱源・熱源補機・熱搬送に係る事項		高効率熱源機器						
		熱源台数制御						
(キ)空調負荷の低減に係る事項		全熱交換器						
		外気冷房システム						
		予熱時外気取り入れ停止						
		全熱交換器自動換気切替機能						
(ク)空気搬送動力の低減に係る事項		変風量制御						
(ケ)換気設備に係る事項		送風量制御						
(コ)照明制御に係る事項		在室検知制御						
		明るさ検知制御						

取組評価書「住宅以外の用途」シート（抜粋）

※モデル建物法、標準入力法以外の計算方法を使う場合は（ア）は空欄とし、使用した計算方法を「第2 環境への配慮のための措置の概要」に記入してください

← 段階3	工場等、事務所等、学校等：BEI0.6以下 ホテル等、百貨店等、病院等、飲食店等、集会所等：BEI0.7以下
段階2	工場等：BEI0.65以下 事務所等、学校等：BEI0.7以下 ホテル等、百貨店等、病院等、飲食店等、集会所等：BEI0.75以下
段階1	工場等：0.75以下、事務所等、学校等、ホテル等、百貨店等：0.8以下 病院等、飲食店等、集会所等：BEI0.85以下

■複数用途の場合において、一次エネルギーによる段階判定を使用する場合は、下記の判定セルにツールによる算定結果を張り付けてください

段階1となるBEI値 以下	段階2となるBEI値 以下	段階3となるBEI値 以下	★ 判定結果の貼り付け先セル
------------------	------------------	------------------	-------------------

※上記に入力がない場合は面積按分で段階判定がされます。段階1未満のBEI値の場合も段階1と表示されます。

← ※標準入力法でセルが赤く表示されたり、×が表示される場合は、正しく計算されていない可能性がありますので確認をお願いします

■面積按分の場合は下記判定値となります

段階1となるBEI値 以下	段階2となるBEI値 以下	段階3となるBEI値 以下
------------------	------------------	------------------

※必要に応じて下記省エネ対象面積を修正してください

用途1	用途2	用途3	用途4
工場等 0.00	事務所等 0.00	ホテル等 0.00	病院等 0.00
	学校等 0.00	百貨店等 0.00	飲食店等 0.00
		集会所等 0.00	
小計 0.00	小計 0.00	小計 0.00	小計 0.00

合計	0.00
----	------

コピーした判定結果を、取組評価書「住宅以外の用途」シートの「ア 設備システムの効率化」の右側の「★」に示す緑色セルへ張り付けてください。
左の枠に、段階1、段階2、段階3となるBEIが自動で表示されます。

3. 段階評価基準判定ツールの使用方法

(3)省エネルギーシステム		A	B
ア 設備システムの効率化		運用する	段階2
(ア)ERRの計算方法			エネルギー判定
(イ) a ERR	%	BEI (BEIm)	0.69
b 設計一次エネルギー消費量	GJ/年		
c 基準一次エネルギー消費量	GJ/年		
(ウ)ZEBに係る事項			
(エ)省エネルギー性能目標値 (ERR)		%	入力不可
(オ) a 設備別の一次エネルギー消費量の状況		空調	換気
b 設備別設計一次エネルギー消費量			照明
c 設備別基準一次エネルギー消費量			給湯
(カ)熱源・熱源補機・熱搬送に係る事項			昇降機
高効率熱源機器			その他
熱源台数制御			単位
(キ)空調負荷の低減に係る事項			
全熱交換器			
外気冷房システム			
予熱時外気取り入れ停止			
全熱交換器自動換気切替機能			
(ク)空気搬送動力の低減に係る事項			
変風量制御			

※モデル建物法、標準入力法以外の計算方法を使う場合は(ア)は空欄とし、使用した計算方法を「第2 環境への配慮のための措置の概要」に記入してください

← 段階3	工場等、事務所等、学校等：BEI0.6以下	ホテル等、百貨店等、病院等、飲食店等、集会所等：BEI0.7以下
段階2	工場等：BEI0.65以下	事務所等、学校等：BEI0.7以下
← 段階1	工場等：0.75以下、事務所等、学校等、ホテル等、百貨店等：0.8以下	病院等、飲食店等、集会所等：BEI0.85以下

■複数用途の場合において、一次エネルギーによる段階判定を使用する場合は、下記の緑色セルにツールによる算定結果を張り付けてください

段階1となるBEI値	段階2となるBEI値	段階3となるBEI値	0.81
0.81 以下	0.72 以下	0.64 以下	

※上記に入力がない場合は面積按分で段階判定がされます。段階1等のBEI値の場合も段階1と表示されます。

※標準入力法でセルが赤く表示されたり、×が表示される場合は、正しく入力してください

■面積按分の場合は下記判定値となります

段階1となるBEI値	段階2となるBEI値
以下	以下

※必要に応じて下記省エネ対象面積を修正してください

用途1	用途2	用途3	用途4
工場等	事務所等	ホテル等	病院等
0.00	学校等	百貨店等	飲食店等
	0.00	集会所等	0.00
小計	小計	小計	小計
0.00	0.00	0.00	0.00

取組評価書「住宅以外の用途」シート（抜粋）

取組評価書「住宅以外の用途」シートの「ア 設備システムの効率化」の「A」に示すBEI (BEIm) に数値を入力してください。
「B」に当該建築物の段階が自動で表示されます。

7

3. 段階評価基準判定ツールの使用方法

東京都建築物環境計画書制度における複数用途建築物の3段階評価基準判定ツール

判定日： 2024/03/14

入力形式： 標準入力法

基準BEI： 段階1 段階2 段階3

設計BEI：

段階判定結果：

⑥ 出力方法選択：
 ファイル出力 印刷

⑥出力方法を「ファイル出力」(PDFファイル出力)または「印刷」を選択し、「出力」をクリックすると判定結果が出力されます。
出力した判定結果は、取組評価書とあわせて提出してください。

4. エラーメッセージ一覧

下記のエラーメッセージが表示された場合は、ファイル等をご確認ください。

No	エラーメッセージ
1	ファイルが指定されていません。ファイルを選択してください。
2	指定されたファイルが存在しません。ファイルをご確認ください。
3	QRコードの読み込みができません。WEBプログラムから出力された原本のファイルをご確認ください。
4	指定した入力形式（標準入力法またはモデル入力法）とファイルが一致しません。
5	予期しないエラーが発生しました。再度、入力形式及びファイルを指定してください。

5. お問い合わせ先

東京都建築物環境計画書制度ヘルプデスク
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号 都庁第二本庁舎20階
TEL: 03-5320-7879(直通)
メールアドレス: building@kankyo.metro.tokyo.jp